

令和7年度

寄宿舎 入舎のしおり



北海道小樽高等支援学校 寄宿舎



(アオバト寮)

〒047-0261 小樽市錢函1丁目 10番2号

TEL 0134-61-3400(学校代表) 時間 8:20~16:50
0134-61-3420(寄宿舎直通)

目 次

集団生活とは　寄宿舎の教育的役割	1
保護者等の皆様へ	2～9
1　所持品について	2～3
2　帰省・帰舎、外出等について	3～4
3　寄宿舎生活費について	4
4　健康について	5～6
薬ファイル作成見本	7
5　よく質問される内容について	8～9

集団生活とは

私たち（生徒も含め）は、家庭、学校、職場など様々な人との関わりの中で、自ら主体的に生活に関わり、よりたくましく生きていくための様々な力を身に付けていきます。

寄宿舎は、食事や掃除、入浴、洗濯など生活習慣及び身辺自立とともに、集団生活を通してルールやマナーを身に付けながら、協調性や仲間意識などお互いを思いやる気持ちを育てる場でもあります。

寄宿舎のもつ教育的機能を大切にしながら、生徒たちが共に育ち合えるよう指導、支援していきます。

寄宿舎の教育的役割

- 1 学校での教育とあわせて、一日 24 時間の生活を長期間継続して組織的に指導しています。
- 2 寝食を共にする集団生活を通して、生活の流れの中で衣食住に関する課題を自覚し、自立に向かって取り組みます。
- 3 異年齢集団の中で、相互に理解を深めながら対等の立場で集団の一員としての行動を学びます。本校寄宿舎は2期制となっており、交友関係の広がりや深まりを目的としてグループ内での舎室替えを行っています。
- 4 家庭から離れた生活を送る中で精神的自立を促し、保護者等にとっても子供を客観的にとらえる機会になります。

保護者等の皆様へ

生徒が寄宿舎で生活するにあたり、各項目の確認をお願いします。

1 所持品について

(1) 別紙「所持品一覧表」について

基本的な目安です。持参数を記入し、「寄宿舎提出用」を提出してください。

※ 記載された物品には就学奨励費の対象とならないものも含まれていますので、詳細は「就学奨励費のしおり」を御覧ください。

(2) 持ち物全般について

ア “学校用”と“寄宿舎用”に持ち物を分けて御持参ください。

イ 油性ペンまたは刺しゅう等で必ず名前を付けてください。

ウ 日常の指導の中で整理整頓をしますが、傷んだ物や日用品等の不足は随時確認して補充してください。また、収納場所が限られていますので、季節や使用状況に応じて衣服や寝具の入れ替えをしてください。

※ 本人と一緒に所持品の確認を行う場合があります。

エ 高価な物は持ち込まないようにしてください。

オ 布団や衣類は、季節の変わり目に入れ替えをしてください。

(3) 音楽プレイヤー・ゲーム機・カードゲーム・書籍等について

ア 寄宿舎に持ち込みできるものは、音楽プレーヤー(ウォークマン、iPodなど)、ゲーム機(3DS、PSVita、Switch、Switch Liteなど)、楽器(ギター、ベースなど)、**ポータブルDVDプレーヤー**、トレーディングカード、書籍(小説、マンガなど)です。持参する場合は、自己責任での管理とします。(舍室に鍵のかかる場所はありません)

イ テレビにつなぐゲーム機、タブレット端末、デジタルカメラ、携帯電話やスマートフォン(舍務室保管)の持ち込みはできません。またゲーム機や音楽プレーヤーなどでインターネットに接続することはできません。

(4) 持ち込み禁止の物について ※刃物、火器類を持ち込むことはできません。

ア 危険物(ライター、はさみ、カッターなど)

※ 学校で使用するハサミ、カッター、裁縫道具や生活で必要な爪切りやカミソリなど刃物を持参した場合は、必ず職員に伝え、預けてください。

イ おやつ、ジュース(水分補給用の水やお茶は持ち込み可能)

ウ 帰省費以外の現金

エ 装飾品（ネックレス、イヤリング、指輪、ピアスなど）

オ パソコン、タブレット端末、その他通信機器

（5）携帯電話・スマートフォンについて

帰省経路届に電話番号を記入し提出後、寄宿舎で預かります。帰省帰舎時の連絡や家庭への通話連絡のみ（LINE 通話可）使用できます。

（6）その他

持ち物は、必要最低限の持ち込みとします。不明な点は職員へ御相談ください。

2 帰省・帰舎、外出等について

（1）帰省・帰舎について

ア 送迎での帰省・帰舎

- ・ 保護者等が家庭と寄宿舎間を送迎してください。
- ・ 移動支援の利用等、保護者等以外の方が送迎をする場合は、事前に御連絡ください。
- ・ 服装については、制服でも私服でも構いません。
- ・ 帰省日は、夕食がありませんので 19:00 までに迎えに来てください。
- ・ 登校日前日に帰舎する場合は、14:00 から 20:00 までに帰舎してください。

※夕食を御家庭で済ませる場合は 18:30 以降に帰舎してください。

- ・ 登校日は 8:15 から 8:30 登校時間に間に合うように帰舎してください。
※朝に帰舎する場合は、御家庭で朝食、服薬を済ませてください。

イ 単独帰省・帰舎

- ・ 社会経験の拡大、卒業後必要となり得る力を身に付けるために、寄宿舎と家庭等を移動する単独帰省帰舎を実施しています。詳細は、同封されている「令和 7 年度単独帰省・帰舎について」を御確認の上、必要な準備を進めてください。
- ・ 服装は制服でも私服でも構いません。
- ・ 1 学年は所定の手続きを経て、4月18日（金） から実施予定です。
- ・ 2、3 学年（新入舎生）で、すでに単独で通学の生徒は、「帰省・帰舎経路届」を提出後、4 月最初の帰省日より実施できます。
- ・ 帰省日は下校後から交通機関の時間に合わせて寄宿舎を出発します。
- ・ 登校日前日に帰舎する場合は、14:00 から 17:00 までに寄宿舎に到着してください。
- ・ 登校日は、8:00 から朝食、服薬を済ませて寄宿舎に到着してください。

ウ 帰省・帰舎予定の届け出

事前に「帰省・欠食予定表」を配付しますので、提出してください。

- ※ 学校休業日は、御家庭や地域で過ごすよう御協力ください。
- ※ 急に食事が必要な場合は、弁当等を御家庭で用意してください。
- ※ 学校で指定する日は全員帰省とし、閉舎となります。

(2) 外出について

ア 保護者等との外出

事前に寄宿舎へ連絡をし、20:00までに寄宿舎へお戻りください。

イ 保護者等以外の方との外出

安全のため、必ず保護者等が事前に寄宿舎へ連絡してください。

(3) 電話についてのお願い

ア 寄宿舎の電話について

- ・ 生徒が寄宿舎に多数在舎している時間帯は、電話に出られない場合があります。
- ・ 19:30から20:00は電話が集中しやすい時間帯です。生徒との長電話はお控えください。
- ・ 金曜日19:00から日曜日11:30までは寄宿舎職員は不在です。
- ・ **必要に応じて、マチコミをご活用ください。**

イ 生徒から家庭への電話について

- ・ 携帯電話・スマートフォンを所持している生徒は、携帯電話・スマートフォンを使用していただきます。
- ・ 携帯電話・スマートフォンを所持していない生徒は、寄宿舎の電話から家庭へ連絡後、折り返し掛けさせていただきます。

3 寄宿舎生活費について

寄宿舎では個人のおやつ代や共同で必要な消耗品等を購入する経費が必要です。指定日までに前期・後期に分けて納入してください。

(1) 寄宿舎生活費の納入額

前期4月(15,000円)、後期10月(15,000円)の合計30,000円です。

※ 4月納入分～新入生は、お届け口座から引き落としにより納入いただきます。

※ 寄宿舎生活費については、詳細を納入文書にて御連絡します。

(2) 寄宿舎生活費の内訳

生活費(小遣い・外出費) 共同購入費(新聞) 消耗品費・舍友会費

※ 日用品費、医療費、帰省費は含まれません。

4 健康について

養護教諭・栄養教諭・担任との連絡を密に行い、生徒の健康保持に努めています。健康について何か気になる点があれば、御相談ください。

障がい・体質・疾病・アレルギー等についても、詳しくお知らせください。

(1) 通院について

ア 通院は御家庭にお願いしています。急な体調の変化やけが等、受診が必要と思われる場合のみ学校や寄宿舎で通院することがあります。その場合は保護者等へ事前に連絡をし、了解をいただきます。

(連絡が取れない場合は事後承諾となります。)

イ 学校や寄宿舎で通院する際の費用は、引率する職員の交通費も含めて保護者等負担となります。やむを得ずタクシーを利用して医療機関を受診する場合がありますので御了承ください。

ウ 定期検診、慢性疾患やむし歯の治療、体調不良などが続いている場合は、隨時御家庭で通院してください。

(2) 家庭静養について

次のような場合は、御家庭で静養してください。

ア 医師の指示による場合

イ 回復に時間要する場合

ウ 感染症予防法で定められた感染症（新型コロナウィルス感染症、インフルエンザ、ノロウイルス感染性胃腸炎等）や他の生徒に感染する恐れがある場合

(3) 薬の管理について

薬を寄宿舎に預ける場合は、安全に投薬をしたいと考えていますので、病名、薬品名、使用期間を必ず確認してください。また、持参した場合は、必ず職員に渡してください。

ア 市販薬について

・ 基本的にお預かりできません。

注) 内服薬・外用薬ともに受診のうえ、医師からの処方を受けた薬のみ持参ください。

イ 内服薬について

・ 医師の診察を受け、処方を受けた薬のみを持参ください。

・ 使用期限の過ぎた薬など以前に処方された薬や御家族の方が処方された薬はお預かりできません。

- ・ お預かりする薬は、「一週間分と予備一日分」を用意してください。併せて、「お薬情報（薬局からもらう処方箋）」も持参ください。
- ・ 薬は「一回分ずつ透明のチャック袋」に小分けしてください。
- ・ 小分けした薬を、「A4ファイルにセロハンテープ」で貼ってください。
- ・ 小分けした薬は、一回分ずつに「名前、曜日、時間帯（朝食後、昼食後、夕食後、就寝前など）」を記入してください。

※1 小分け用の透明のチャック袋は、A8サイズ：5.8cm×8.3cm程度のもの、またはA9サイズ：6.8cm×4.8cm程度のもので、文字が記入できるものを御用意ください。

※2 薬の貼付用ファイルは、A4薄型・背表紙1.5cmのもので各自用意してください。（※紙製は御遠慮ください）

※3 風邪薬などの「短期服用薬」も上記同様に一回分ずつ小分けして用意してください。

※4 頓服（症状が出たときに飲む薬）なども、内服薬と同様にA4ファイルに一回分ずつ小分け、貼付して持参ください。

薬のファイルの作成方法は、7ページの
「内服薬を持参する場合の例／見本」を参考にしてください。

ウ 外用薬について

点鼻薬、点耳薬、塗布薬なども透明のチャック袋などに入れて名前、時間帯、塗布する部位などを記入してください。併せて、薬情報（薬局からもらう処方箋）も持参してください。

外用薬の作成方法は、7ページの
「外用薬を持参する場合の例／見本」を参考にしてください。

※1 マスク、湿布（サージカルテープ）、包帯、傷ばん創こう等は御家庭で用意してください。

※2 外用薬（吸入器、点鼻薬、塗布薬等）については、御家庭用と寄宿舎用を準備してください。

薬のファイル作成方法 *風邪などの短期薬も同様に作成してください。

○内服薬を持参する場合

(1) 一回分ずつに分ける。

何種類がある場合や粉薬の場合も、透明のチャック袋（キャラクター等の絵柄なし、A8～A9）に入れまとめる。

(2) 小分けにした袋一つずつに、曜日、時間帯（朝食後、昼食後、夕食後、就寝前など）、名前をフルネームで入れる。

(袋に記入できる欄がない場合は、袋にラベルを貼り、記入してください)

(3) ファイルの右側に、曜日、時間帯ごとにセロハンテープで貼る。

“予備薬”は、ファイルの左側に一日分を貼る。（薬を落としたりこぼしたりした場合に必要になるため）

(4) “薬情報（処方箋）”をファイルの左側に貼る。

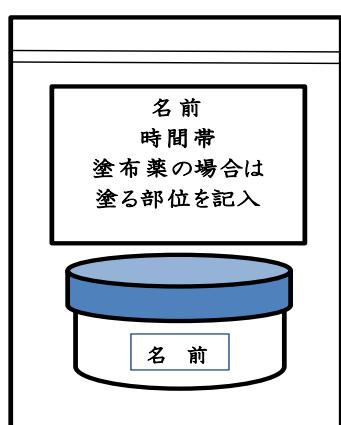
(5) ファイルに貼る内服薬は、一週間分とする。

(例)



○外用薬を持参する場合

(例)



チャック袋などに入れてください。
塗布薬本体にも名前を記入してください。

5 よく質問される内容について

教育相談などで質問される内容をまとめましたので、参考にしてください。

(1) 持ち物について

- 上履きはサンダルも必要ですか?
→ 寄宿舎内ではサンダルを履いている生徒が多いです。運動靴は体育館活動の時に必要です。災害時はそのまま外に避難することになります。室内用のスリッパは避けてください。
- 乾燥室のハンガーはどのくらいの大きさの物を用意すれば良いですか?
→ 物干しポールの太さは3.8cmです。フック部分の径がそれ以上で開口部が広い物を用意してください。
- 小物干しのような形でハンガーが付いている物は使っても良いですか?
→ ハンガーだけだと、場所を取りますのでハンガー単品と洗濯ばさみがついている小物干しを使ってください。
- 書籍、カードゲームやゲーム機は持ってきてても良いですか?
→ 書籍、カードゲームは持ってきてても良いですが、紛失や破損があることを御理解ください。また、テレビにつなぐゲーム機やDVDプレイヤー、タブレット端末などは禁止しています。
詳細については担当職員に御確認ください。
- ヘアアイロンは持ってきてても良いですか?
→ 良いです。

※持ち物について、ハサミ、カッター、裁縫道具や爪切りやカミソリなどを持参した場合は、必ず職員に伝え、預けてください。

(2) 寄宿舎生活全般について

- 敷き布団には布団カバーを掛けてその上にシーツを掛けて使うのですか?
→ そのように指導していますが、各家庭の使い方で構いません。
- 机に鍵が付いていますが、使用できますか?
→ 鍵穴は付いていますが、使用していません。
- インターネットは使用できますか?
→ 使用できません。パソコンやタブレット、その他通信機器の持ち込みはできません。
- 舎内での服装について教えてください?
→ 食堂等で男女が一緒になるので、肌を出す服装（タンクトップや襟ぐりの大きなTシャツ、ショートパンツ、ミニスカート）は着用できません。

(3) 帰省・帰舎について

- 週中の祝日は泊れますか？
→ 寄宿舎は開舎していますので、泊まることはできます。御家庭で話し合って決めてください。
- 毎週金曜日に全員帰っていますか？
→ 全員帰省しています。

(4) その他

- 夏休み・冬休みは必ず布団や衣類を持ち帰らなければなりませんか？
→ 必ず持ち帰らなければならないわけではありませんが、休業期間中に布団にカビが生えてしまうことがあるため、御家庭に持ち帰り、乾燥していただくことをおすすめします。衣類は交換が必要なものを確認し、必要に応じて持ち帰ることをおすすめしています。
- 寄宿舎の設備や備品を破損させた場合はどのような対応になりますか？
→ 原則として個人で弁償していただきます。修理金額が高額になることが多いため AIG 総合保障制度（通称 AIG 保険）への加入をおすすめします。参考として、掛け金が 8,000 円から 18,000 円程度のプランがあります。詳細については、パンフレット等（入学式配付）を御確認ください。
(修理金額の例 テーブルの破損 6 万円、壁の破損 6 万円など)

